

【参考資料】

今後整備予定の県立体育館の基本構想等（機能，規模・構成等を抜粋）

- ① 栃木県【総合スポーツゾーン全体構想】（完成年度：2020年度）
…… 1 ～ 2 ページ
- ② 佐賀県【佐賀県総合運動場等整備基本計画】（完成予定年度：2022年度）
…… 3 ～ 4 ページ
- ③ 滋賀県【新県立体育館施設整備基本計画】（完成予定年度：2022年度）
…… 5 ～ 6 ページ
- ④ 香川県【新香川県立体育館整備基本計画】（完成予定年度：2023年度）
…… 7 ～ 8 ページ
- ⑤ 愛知県【愛知県新体育館基本計画】（完成予定年度：2024年度）
…… 9 ～ 10 ページ
- ⑥ 宮崎県【県体育館整備基本計画】（完成予定年度：2024年度）
…… 11 ページ
- ⑦ 鹿児島県【総合体育館等整備基本構想（H23構想）】 参考
…… 12 ～ 13 ページ

※ 各県の基本構想等に基づき当室にて整理

① 栃木県【総合スポーツゾーン全体構想】（完成年度：2020年度）

項 目	内 容
必 要 性 (課題)	① 施設の老朽化，大規模な競技大会への対応が困難 ② H34年国体に向けた施設の整備
機 能	① 生涯スポーツやレクリエーションを楽しめる施設 ② プロスポーツを含めトップアスリートが競技できる施設 ③ 競技力の向上を支援する施設 ④ 県民との協働によるスポーツ支援 ⑤ 多目的な利用を想定した施設 ⑥ 自然に親しむ憩いの空間としての施設 ⑦ 環境への配慮や周辺のまちづくりと調和した施設 ⑧ 県民の命を守る防災拠点としての施設
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：バスケ4面 ○ 観客席：5,000席程度（うち固定席3,000席） 【サブアリーナ】 ○ 面 積：バスケ2面 ※ 体育館施設は，天候に左右されず，活用用途も広いため 整備運営手法は民間活力の導入を検討 ※ 体育館施設にトレーニングルームの整備，電光掲示板の設置，多目的室等の整備，コンサートや各種イベント開催に対応できる音響設備等を整備 【武道館】 ○ 面 積：柔道・剣道の併用で6面 ○ 観客席：1,500席程度 ○ サブ武道場：柔道及び剣道それぞれ2面程度を整備 【弓道場】 ○ 近的12人立，遠的6人立 ○ 観客席：150席程度 ※ 新たに整備する施設 ① 陸上競技場兼サッカー場（新スタジアム） ② 新体育館及び新水泳場 ③ 武道館及び弓道場

施設規模・ 構成	※ 既存施設 ① 陸上競技場を補助競技場へ改修（既存の補助競技場を廃止） ② 硬式野球場（改修） ③ トレーニングセンター（廃止⇒新体育館で強化） ④ 合宿所（改修） ⑤ 県体育館分館（修繕：1Fボクシング，2F卓球場）
-------------	---

② 佐賀県【佐賀県総合運動場等整備基本計画】（完成予定年度：2022年度）

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 国体の基準を満たしていない（H35年国体） ② 施設が老朽化している ③ 「観る」スポーツのために整備された施設がない ④ 「育てる」スポーツのための環境が十分ではない ⑤ 「憩い、にぎわい」施設となっていない ⑥ 障害者がスポーツを楽しむための環境が十分でない
機 能	(1) スポーツを楽しむ環境を整える ① 年齢・性別・障害のあるなしに関係なくスポーツを楽しむことができる施設 ② 老朽化等に対応した施設の整備 (2) 競技力の向上を支援する環境を整える ① アスリートの練習環境が整った施設の整備 ② 指導者の育成、競技団体の連携が図れる施設の整備 (3) スポーツツーリズムを推進できる環境を整える ① 全国規模の大会などの開催に必要な基準を満たした施設 ② プロスポーツのような『観る』スポーツに対応した施設の整備 ③ トップアスリートのキャンプや合宿などに対応した施設の整備 (4) 支える側も楽しめる環境を整える ○ 応援やスポーツボランティアを通じて運営を支えるなど、スポーツを支える側も活用できる施設の整備 (5) 多目的な利用ができる環境を整える ① スポーツを行わない人でも憩い、集えるような施設の整備 ② コンサートなど、スポーツ以外での利用が可能な施設の整備 (6) アクセスのしやすさ（エリアに付加すべき機能） ① 周辺道路とのアクセスやわかりやすい案内標識の整備 ② 利用者の利便性向上のための駐車場の整備 (7) 環境への配慮（エリアに付加すべき機能） ① 様々な再生可能エネルギーを活用した施設の整備 ② 周辺の景観に配慮した施設の整備 (8) 防災拠点としての活用 ○ 防災拠点としての機能を備えた施設の整備

施設規模・構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：バスケットボールコート3面 ○ 観客席：6,000席以上規模（固定席4,000席以上） ・施設機能 （適正なサイズ，諸室配置の構造，運営の最適効率，実用的な駐車場配置，快適な空間等） ・設備機能 （最適な照明，効果的な音響，機能的な大型映像，実用的な電源環境，快適な通信環境等） ・運営機能 （適切な観客席数，最適な座席構造，適切な広さの過不足ないトイレ，最適な飲食環境等） ・安全機能 （適切な避難経路，臨時自家発電設備，監視カメラシステム，A E D 設備，最適な動線の確保等） ・アリーナはシンプル，施設機能はマルチ ・機材を直接搬入できるフロア 【テナント棟】 カフェ，レストラン，スポーツミュージアム，フィットネススタジオなど 【その他外構等】 ペDESTリアンデッキ（歩行者用デッキ），外構整備 ※ 新たに整備する施設・機能 ① アリーナ新設（再掲） ② テナント棟 ③ ペDESTリアンデッキ ④ 子どもの遊び場，イベントスペースなど，人が憩い集えるような場所 ※ 改修・移転 ① 総合体育館（改修：ボクシング・フェンシング場を整備） ② 陸上競技場（改修） ③ 水泳場（改修） ④ 庭球場（改修） ⑤ エアーライフル射撃場（移転整備） ⑥ 合宿所（リノベーション） ⑦ 駐車場（パーク内に新たに1,000台整備） 【廃止】 市村記念体育館（体育施設としての用途を廃止）
---------	--

③ 滋賀県【新県立体育館施設整備基本計画】（完成予定年度：2022年度）

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 現体育館の老朽化 ② 施設の狭隘 ③ H36年国体に向けた施設の整備
機 能	① 競技スポーツだけでなく、生涯スポーツや健康づくり拠点 ② 大学をはじめとする周辺施設・機関と連携した全県への機能発揮 ③ すべての人に利用しやすく、交流できる場の創出 ④ 多機能、多目的な利用への対応（コンベンション会場やスポーツ興行の利用、医学的なトレーニング施設） ⑤ 緑豊かな環境の活用 ⑥ 整備・運営への民間活力の導入（トレーニングジム、レストランなどの収益機能の導入可能性を検討）
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：2,760㎡（69m×40m）程度 [バスケット3面] ○ 天井高：14m以上 ○ 観客席：5,000席程度（固定席：約2,500席，可動・仮設席：約2,500席，観客席後方にウォームアップ用ランニングコースを設置） 【サブアリーナ】 ○ 面 積：1,026㎡（27m×38m）程度 [バスケット1面] ○ 天井高：12m以上 ○ 観客席：200人程度 ※ 体育館 トレーニング・体力測定室，多目的室，更衣室，器具庫，会議室（間仕切りなどにより複数の部屋に分割できる仕様），キッズルーム・授乳室，ロビー等（飲食提供や物品販売を想定した臨時スペースの確保，トップアスリート関連展示の検討），ユニバーサルデザインへの配慮 ※ 屋外施設 ① 多目的広場 ② 駐車場（常設：400台程度，臨時：500台程度，計 900台程度） ③ レストラン等サービス施設

施設規模・ 構成	※ その他 ① 地域防災拠点としての役割への配慮 ② 景観への配慮（滋賀県産木材などの活用） ③ 省エネルギーへの配慮（太陽光発電，LED照明など） ④ 将来の拡張性への配慮
-------------	---

④ 香川県【新香川県立体育館整備基本計画】（完成予定年度：2023年度）

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 旧県立体育館の屋根の落下の危険性判明に伴うアリーナ部分の利用中止 ② アリーナ利用中止に伴い、近隣会場への利用希望者が増えており、近隣会場だけでは県民の体育館利用の需要に対応できない状況
機 能	【体育館の役割】 ① スポーツの国際大会・全国大会から地域の大会まで開催することができる施設であること。 ② 気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる生涯スポーツ活動の拠点となる施設であること。 ③ コンサート等のイベントが開催でき、M I C E利用も図れる香川の魅力や活力の創出に資する施設であること。 【基本的な機能】 ① 競技スポーツ施設としての機能 ② 生涯スポーツ施設としての機能 ③ 交流推進施設としての機能
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：78m×48m（3,744㎡）以上 [バレー4面，バスケ3面，ハンド2面] ○ 観客席：最大収容人数1万人以上。（市場調査結果等踏まえ，固定席5～6千席程度，アリーナ面に仮設イスを配置。） ○ 天井高：14m以上 ○ 床の仕様：コンクリート床とし，スポーツ利用時にはコンクリート床の上に木製床を設置する。 ○ 搬入口：2か所以上を確保し，アリーナに大型トラックが直接乗り入れること。 ○ 搬入路：アリーナ面との段差がない構造とする。 【サブアリーナ】 ○ 面 積：47m×38m（1,786㎡）以上 [バレー2面，バスケ2面，ハンド1面] ○ 観客席：固定席1,000席程度 ○ 天井高：14m以上 ○ 床の仕様：スポーツ利用を想定することから木製床

施設規模・構成	【武道施設兼多目的ルーム】 ○ 面 積：柔道場（または剣道場）3面の公式競技の開催が可能な広さ 46m×18m程度 ○ 観客席：300席程度 ○ 床の仕様：武道用の木製床とし、柔道の場合は、木製床の上に畳を設置する 【その他の諸室】 ① 器具庫 ② 選手控室・更衣室 ③ トイレ ④ 会議室 ⑤ V I Pルーム ⑥ 医務室 ⑦ 事務管理諸室 ⑧ サービス施設（カフェ又はレストラン） ⑨ メディア関連スペース ⑩ エントランスホール・ロビー ※ 屋外施設整備 (1) 駐車場 敷地内に一般駐車場を100台程度、加えて、大型バス、身障者用、V I P用駐車場 (2) 駐輪場 約520台程度以上 (3) 屋外スペース ① 待機列用のスペース（チケット・グッズ販売等を含む） ② カフェ又はレストランの整備
---------	--

⑤ 愛知県【愛知県新体育館基本計画】（完成予定年度:2024年度）

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 現体育館の施設の老朽化 ② 現体育館が規模・機能とも国際基準を満たしていない。
機 能	【位置づけ】 国際大会を開催するために必要な規模，機能を有することで，国際スポーツ大会などの誘致を可能とし，かつ大相撲名古屋場所の開催など現体育館が担ってきた伝統や歴史をさらに発展させていく愛知・名古屋のシンボルとなる施設を目指す。（2026年アジア競技大会に利用できるよう新体育館の整備に向けた準備をする。） 【あり方及び機能】 ① 大相撲名古屋場所にふさわしい風格のある施設 ② ピンポン外交など50年以上の愛知県体育館の歴史を引き継ぐ施設 ③ 全国大会を常時開催できる施設 ④ アジア大会を始めとした国際大会を開催できる施設 ⑤ 全国レベルのコンサート，イベント，コンベンション等の拠点となる施設
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：4,500㎡程度 [バスケットボールコート4面] ○ 観客席：15,000席（固定席11,000席，可動席3,000席，仮設席1,000席） 【サブアリーナ棟】 ○ 面 積：1,500㎡程度 [バレーコート2面] 【多目的ホール】 ○ 面 積：1,500㎡程度（サブアリーナと一体利用可能） 【諸室（観客関連エリア）】 ○ エントランス，コンコース，テナント（飲食，物販），トイレ，VIP室（15室），VIPラウンジ，VIP専用エントランス 【諸室（選手関連エリア）】 ○ 更衣室，監督室，ウォームアップエリア，ドーピングコントロール室，医務室，浴室 【諸室（運営，メディア，関連エリア）】 ○ 会議室，控室（運営室，会議室，委員長室，記録室，更衣室，審判控室，記者室，会見室，カメラマン室，更衣室）

施設規模・ 構成	【諸室（施設管理関連エリア）】 ○ セントラルキッチン・パントリー，警備室，警備・警察・消防控室，救護室，倉庫，機械室，清掃室，事務室等
-------------	--

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 施設の老朽化,施設基準の不適合 ② H38年国体に向けた施設の整備
機 能	(1) 機能性 ① 競技を円滑に実施できる施設機能の整備 ② すべての選手・観客が快適に利用できるユニバーサルデザインの導入 ③ 高い環境性能の獲得 (2) 将来性 ① 全国大会等の大規模な大会の開催ができる施設整備 ② 多目的な利用ができる施設整備 ③ 競技力の向上や選手育成に寄与できる練習設備の整備 (3) 安全性 ① 大規模災害の発生や障害者スポーツ大会の開催も考慮した安全性の確保 ② 災害発生後の広域的な避難拠点・防災拠点としての活用 (4) 経済性 ① 各種交付金や助成制度の積極的な活用の検討 ② P F I 手法等の民間活力の積極的な活用の検討
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：約3,040㎡（69m×44m程度） [バスケット3面，バレー4面] コート間，コートサイドは車椅子でも十分な広さを確保 ○ 観客席：固定席2,000～3,000席，可動席1,000～2,000席で検討 ○ 天井高：12m以上を確保 【サブアリーナ】 ○ 面 積：約1,700㎡（47m×36m程度） [バスケット2面，バレー3面] ○ 観客席：最大800席で検討 ○ 天井高：12m以上を確保 【多目的室】 ○ 武道や健康教室，会議など多様な使い方ができるスペースを設置（概ね400㎡～600㎡程度で検討） 【用器具庫】 十分な面積を確保 【諸室】 ○ 医務室，会議室，放送・記録室，管理事務室，トレーニング室，浴場又はシャワー室，ロッカールームを設置 【駐車場】 ○ 車を利用して2,000人が来場する場合に対応可能な800台程度 ※ 現在の体育館⇒当分の間活用する

⑦ 鹿児島県【総合体育館等整備基本構想（H23構想）】

項 目	内 容
必 要 性 (課 題)	① 施設の老朽化と狭隘 ② H32年国体に向けた施設の整備
機 能	【位置づけ】 ① 競技スポーツ振興の拠点 ② 生涯スポーツ社会実現のための拠点 ③ 鹿児島県総合体育センター体育館及び武道館の機能の継承 【あり方及び機能】 ① 全国大会や国際大会など大規模なスポーツ競技大会に対応できる施設 ② 県民の誰もが生涯を通じてスポーツ活動の場として親しめる施設 ③ 県民の健康・体力の保持増進や競技選手の育成強化を図る施設 ④ スポーツ指導者及びボランティアの養成・研修施設 ⑤ 各種イベントにも利用できる多目的施設 ⑥ その他 ・地球環境に配慮した施設 ・経済性に優れ、維持管理しやすい施設 ・災害時の避難施設としても利用可能な施設 ・地域の景観に配慮した施設 ・ユニバーサルデザインに配慮した施設
施設規模・ 構成	【メインアリーナ】 ○ 面 積：17,000～19,000㎡ [バスケット4面] ○ 観客席：5,000席～7,000席 ○ 天井高や照明等の設置は、全国大会等が開催可能なレベルとする。 ○ 室内競技、体操、武道等の大規模な競技大会及び各種イベントに対応できる仕様とする。 ○ 多目的利用に係る整備については、ステージ、吊物設備など必要最小限のものとする。 【サブアリーナ】 ○ 面 積：5,000～6,000㎡ [バスケット2面] ○ 観客席：200席～300席程度 【武道館】 ○ 面 積：8,000～9,000㎡ 柔剣道場6面程度 【弓道場】 ○ 近的12人立、遠的6人立

施設規模・構成	【その他諸室】 ・控室，更衣室，シャワー室，器具庫等スポーツ競技に必要な施設 ・トレーニング室等の県民の健康・体力の保持増進と競技者の育成強化を図る施設 ・研修室，会議室等のスポーツ指導者やボランティアの研修等が行える施設 ・管理事務室，体育協会事務室，応接室，機械室等の施設の維持管理等に必要な施設 ・ロッカールーム，売店，授乳室等の利用者の便益を図る施設 【駐車場・駐輪場】 大規模なスポーツ競技大会の開催等に対応できる駐車台数を確保する。
---------	---